

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	作詞・作曲 3	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	2 年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1 単位		授業形態	実習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。（参考書:作詞本）						
担当教員情報							
担当教員	伊崎			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的							
1年次の授業を踏まえ、オリジナリティー溢れる作品を制作するスキルを身に着ける。この授業では日本の偉大な作詞家、作曲家の作品からその技法を学び、個人の作品制作に反映する。企業やレーベルコンペを想定した作詞、作曲方法を学び、実際に参加することで作詞家、作曲家として即戦力で活動できる作家を目指す。「オリジナル作品制作」授業と連動し、授業内で制作した楽曲に対し作詞を行い、クオリティーの高いオリジナル作品を完成させる。この科目で学習する事で、将来アーティスト活動だけではなく作詞家、作曲家として活躍できるスキルを身につける事を目的とする。							
到達目標							
クオリティーの高いオリジナルのメロディーや歌詞を生み出すことができるよう、1回目から10回目の授業でオリジナルのメロディーに詞をつける訓練を行う。11回目から15回目までは一曲フル尺で作詞、作曲をする。前期の授業内で最低3曲の楽曲を完成させる。実際の音楽の現場ではスピード感も大事な要素であるので、制限時間を設定しその時間内で作詞する訓練も同時に行う。オリジナル楽曲だけでなく他生徒の制作した楽曲に歌詞をつけたり、他生徒の制作した歌詞にメロディーをつけるといったコライト手法の制作方法も授業内で実践する。授業内で制作した作品は授業毎に提出し、提出物は重要判断要素として評価する。							
教育方法等							
授業概要	学生個々が作曲、作詞をオリジナルで制作して作業を進める為、個々の能力に応じた進め方に留意しながらで授業を進行する。楽曲が出来ていない学生は作詞に入れない為、常に別メニューの準備をし、状況に応じて授業を進めていく。在学中からプロの作詞家、作曲家と肩を並べるレベルの作品作りを目指す。授業内で制作した作詞、作曲作品は持ち帰って活用してもよい。授業内で完成しなかった作品は完成させ次回授業内に提出するよう指導する。						
	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。作詞、作曲は個々の個性をつぶさないように講師の固定観念で評価しない。最新の音楽の情報を常に講師自身が収集し、「今」を大事に授業を進める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	提出物	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・筆答)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する					
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	作詞、作曲とは何か			作詞、作曲とは何かを最新の音楽業界の観点から理解することが出来る。			
2 回	作詞をする前の準備			テーマを設けてそのテーマから連想されるワードをあげ次回の作詞の準備をすることが出来る。			
3 回	上級作詞実習(1)			前回のワードを使い実際に作詞をする。1 コーラス仕上げて提出することが出来る。			
4 回	上級作曲実習(1)			あらかじめ用意した4 小節のコードにメロディーを作ることが出来る。（最低3 パターンを作る）			
5 回	作曲した作品に作詞をする			前回の制作したメロディーに作詞をすることが出来る。			
6 回	上級作詞実習(2)			テーマを与え作詞をすることが出来る。制限時間内に作詞し、提出することが出来る。			
7 回	上級作詞実習(3)			オリジナル作品制作の授業と連動し、オリジナル作品、またはテーマを与え作詞することが出来る。			
8 回	上級作詞実習(4)			オリジナル作品制作の授業と連動し、オリジナル作品、またはテーマを与え作詞することが出来る。			
9 回	上級作詞実習(5)			オリジナル作品制作の授業と連動し、オリジナル作品、またはテーマを与え作詞することが出来る。			
1 0 回	上級作詞実習(6)			オリジナル作品制作の授業と連動し、オリジナル作品、またはテーマを与え作詞することが出来る。			
1 1 回	CM楽曲コンペの作詞(1)			コンペを想定した作詞をする。実際にコンペがあればそれに挑戦することが出来る。			
1 2 回	CM楽曲コンペの作詞(2)			コンペを想定した作詞をする。実際にコンペがあればそれに挑戦することが出来る。			
1 3 回	上級作詞実習(7)			オリジナル作品制作の授業と連動し、オリジナル作品、またはテーマを与え作詞することが出来る。			
1 4 回	上級作詞実習(8)			オリジナル作品制作の授業と連動し、オリジナル作品、またはテーマを与え作詞することが出来る。			
1 5 回	まとめ			前期授業で制作した作品を発表することが出来る。			